



【学校教育目標】 夢をえがき 計画を立て 行動する 児童の育成

家庭と学校の絆

月桂樹



令和8年度10月号
戸田市立新曽小学校
Tel 048-442-2774

確かな学力の定着と主体的に学び合う子の育成を目指して

校長 筒井 陽子

校庭に咲く金木犀の香りに秋の深まりを感じる頃となりました。

さて、本校では、令和6年度から「すべての子供が主語になる教科指導とは ～自己調整力×協働力～」を学校課題研究の主題として校内研修を進めています。日々の授業を通して「自分で考え、見通しをもって学習を進める力（自己調整力）」と「友達と協力して考えを深め合う力（協働力）」の育成に力を入れています。

今年度の4月に実施した埼玉県学力・学習状況調査（4～6年）における「児童質問紙調査」の結果から、高学年児童の成長が見られた具体例と数値をご紹介します。

1「学びの見通しと計画」に関する成果（自己調整力）

授業や家庭学習において、「何のために、どのように学ぶか」を意識して取り組む児童の割合（肯定的な回答）が、県平均を上回っています。

○質問「勉強する前に、これから何を勉強しなければならないかについて考える」

4年生：68.0%（県 57.3）5年生：58.1%（県 55.7）6年生：79.5%（県 62.3）

※特に6年生は8割近くの児童が見通しをもって学習を開始できています。

○質問「勉強するときは、自分で決めた計画に沿って行う」

4年生：65.0%（県 57.4）5年生：59.8%（県 58.0）6年生：69.7%（県 59.5）

※各学年とも、自ら計画を立てて自律的に学習を進める力が着実に向上しています。

2「話し合いや対話を通じた深まり」に関する成果（協働力）

友達とのグループ学習や意見交換を通じて、自分の考えを深めたり高めたりする姿勢にも素晴らしい数値が見られます。

○質問「課題の解決に向けて話し合い、自分の考えをしっかり持てるようになった」

4年生：84.0%（県 77.0）5年生：76.1%（県平均 78.3）6年生：83.6%（県平均 83.1）

○質問「話し合いや集めた資料から、自分の考え方が変わったり、深まったりした」

4年生：76.0%（県 74.0%）5年生：73.5%（県 76.8%）6年生：88.5%（県 81.7）

※6年生では、ほぼ9割の児童が考えの深まりを実感しています。

今回の結果から、児童が主体的に見通しをもち、友達と対話しながら深く学ぶ姿勢が育っていることが確かめられました。一方で、学年ごとの発達の段階に応じた継続的な支援や、振り返り（自己評価）の質のさらなる向上が今後の課題となります。

今後も、子供たち一人ひとりが「わかる楽しさ」「高め合う喜び」を実感できるよう、教職員一丸となって指導・支援を充実させてまいります。ご家庭におかれましても、お子様の自主的な学びへの励ましや温かい声かけをよろしくお願いいたします。

月日が経つのは早いもので、10月9日（金）には前期終業式を迎えます。保護者の皆様、地域の方々には、前期6か月間大変お世話になりました。後期も引き続き、御理解と御協力いただきますようよろしくお願いいたします。